

略 歴

令和 7 年 10 月 1 日現在

ふり 氏 がな 名	さかぐち しもん 坂口 志文	生年月日	昭和 26 (1951) 年 1 月 19 日 (74 歳)
現 職 (専門分野)	大阪大学免疫学フロンティア研究センター特任教授 (免疫学 (免疫寛容の導入・維持機構))		
国 籍 (本 籍 地)	日本 (愛知県)		
学 位	昭和 58 (1983) 年 11 月 博士 (医学) (京都大学)		
経 歴	昭和 44 (1969) 年 3 月 滋賀県立長浜北高等学校卒業 昭和 51 (1976) 年 3 月 京都大学医学部医学科卒業 昭和 51 (1976) 年 6 月 医師免許取得 昭和 51 (1976) 年 4 月 京都大学大学院医学研究科博士課程入学 (昭和 52 (1977) 年 9 月中退) 昭和 52 (1977) 年 10 月 愛知県癌センター研究所実験病理部門研究生 昭和 55 (1980) 年 4 月 京都大学医学部研究生 昭和 56 (1981) 年 10 月 京都大学医学部免疫研究施設及び附属病院輸血部 医員 昭和 58 (1983) 年 9 月 Johns Hopkins 大学卒後研究員 昭和 58 (1983) 年 11 月 京都大学大学院医学研究科博士号取得 昭和 62 (1987) 年 7 月 Stanford 大学客員研究員 平成 元 (1989) 年 7 月 Scripps 研究所免疫学部助教授 平成 3 (1991) 年 11 月 カリフォルニア大学サンディエゴ校客員助教授 平成 4 (1992) 年 3 月 新技術事業団「さきがけ 21 研究」専任研究員 平成 7 (1995) 年 1 月 理化学研究所真核生物研究室研究嘱託 平成 7 (1995) 年 4 月 東京都老人総合研究所免疫病理部門部門長 平成 11 (1999) 年 2 月 京都大学再生医科学研究所教授 平成 19 (2007) 年 10 月 京都大学再生医科学研究所長 平成 23 (2011) 年 4 月 大阪大学免疫学フロンティア研究センター教授 平成 25 (2013) 年 7 月 大阪大学特別教授 (平成 28 年 3 月まで) 平成 28 (2016) 年 4 月 大阪大学名誉教授、京都大学名誉教授 平成 28 (2016) 年 4 月 大阪大学免疫学フロンティア研究センター 特任教授 (常勤) 平成 29 (2017) 年 4 月 大阪大学栄誉教授 令和 7 (2025) 年 4 月 大阪大学免疫学フロンティア研究センター 特任教授 (現職)		
受 賞 歴	昭和 61 (1986) 年 7 月 Lucille P. Markey Award for Biomedical Science 平成 15 (2003) 年 11 月 持田記念学術賞 平成 16 (2004) 年 6 月 Cancer Research Institute' s 2004 William B. Coley Award 平成 17 (2005) 年 11 月 武田医学賞 平成 17 (2005) 年 12 月 高峰記念三共賞 平成 19 (2007) 年 4 月 文部科学大臣表彰科学技術賞 平成 20 (2008) 年 3 月 上原賞		

	平成 20 (2008) 年 11 月	慶応医学賞
	平成 21 (2009) 年 11 月	紫綬褒章
	平成 24 (2012) 年 1 月	朝日賞
	平成 24 (2012) 年 3 月	日本学士院賞
	平成 24 (2012) 年 5 月	米国 National Academy of Sciences 外国人会員
	平成 27 (2015) 年 1 月	Maharshi Sushruta Award
	平成 27 (2015) 年 5 月	中日文化賞
	平成 27 (2015) 年 9 月	トムソン・ロイター引用栄誉賞
	平成 27 (2015) 年 10 月	Gairdner International Award
	平成 27 (2015) 年 11 月	吹田市市長賞
	平成 29 (2017) 年 1 月	The Crafoord Prize in Polyarthrititis
	平成 29 (2017) 年 10 月	文部科学省 文化功労者 顕彰
	平成 30 (2018) 年 3 月	食創会 「安藤百福賞」 大賞
	令和 元 (2019) 年 7 月	英国 Birmingham 大学名誉博士
	令和 元 (2019) 年 9 月	German Immunology Prize (Avery-Landsteiner Award)
	令和 元 (2019) 年 9 月	山田和彦賞
	令和 元 (2019) 年 11 月	文化勲章
	令和 2 (2020) 年 3 月	Paul Elrich and Ludwig Darmstaedter Prize
	令和 2 (2020) 年 11 月	Robert Koch Award
	令和 5 (2023) 年 11 月	Debrecen Award for Molecular Medicine, Hungary
	令和 6 (2024) 年 6 月	The Garnet Immunoglobulin Award from the Czech Immunological Society
	令和 7 (2025) 年 5 月	The Distinguished Fellow of AAI 2025



坂口 志文（さかぐち しもん）（74歳）

大阪大学免疫学フロンティア研究センター 特任教授

【学歴】

昭和44年 3月	滋賀県立長浜北高等学校卒業
昭和51年 3月	京都大学医学部医学科卒業
昭和51年 4月	京都大学大学院医学研究科博士課程入学 (昭和52(1977)年9月中退)
昭和58年11月	京都大学医学部博士号取得

【職歴】

昭和56年10月	京都大学医学部附属病院医員
昭和58年 9月	ジョンズホプキンス大学卒後研究員
昭和62年 7月	スタンフォード大学研究員(Lucille P. Markey Scholar)
平成 1年 7月	スクリップス研究所助教授
平成 4年 3月	新技術事業団個人研究推進事業「さきがけ21研究」 専任研究員
平成 7年 4月	東京都老人総合研究所免疫病理部門部門長
平成11年 2月	京都大学再生医科学研究所教授
平成19年10月	京都大学再生医科学研究所長
平成23年 4月	大阪大学免疫学フロンティア研究センター教授
平成25年 7月	大阪大学特別教授(平成28年3月まで)
平成28年 4月	大阪大学免疫学フロンティア研究センター特任教授(常勤)
平成29年 4月	大阪大学栄誉教授
令和7年 4月	大阪大学免疫学フロンティア研究センター特任教授(現職)

■免疫自己寛容(自己に対する異常な免疫反応を抑える)、免疫恒常性(アレルギーなどの過剰な免疫反応を抑える)に必須な制御性T細胞 (Regulatory T cell) の発見。

■制御性T細胞の異常としての自己免疫病、アレルギーなどの原因・発症機構の解明、および制御性T細胞を標的とした免疫病の治療法・予防法、がん細胞に対する免疫応答惹起法、さらに移植臓器に対する免疫寛容誘導法の開発。

功 績

1979年、制御性T細胞に関する研究を開始。

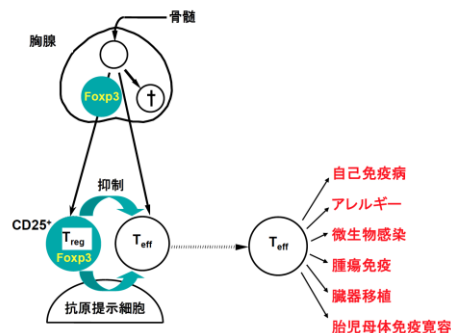
1995年、特異的分子マーカーによる制御性T細胞の同定に成功。

⇒ 制御性T細胞の存在とその免疫学的重要性を世界で初めて証明。

2003年、制御性T細胞特異的転写因子Foxp3の発見。

今後、ヒトの免疫病の治療・予防、がん免疫療法、移植臓器に対する免疫寛容誘導など医療への応用が期待される。

制御性T細胞による免疫制御



制御性T細胞の免疫抑制への応用

